

看護学科

統合基礎看護学講座

看護形態機能学領域

原著論文

- 1 *Yamamoto A, Matsunaga K, Anai T, Kawano H, Ueda T, Matsumoto T, Ando S: Characterization of an intermediate filament protein from the platyhelminth, *Dugesia japonica*. *Protein Pept Lett*, 27(5): 432-446, 2020.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 新名(中村)美佳, 河野 史: 新生仔期の養育母の違いが脳内 corticotropin-releasing factor ニューロンの分布とストレス応答に及ぼす影響. 第61回日本母性衛生学会総会・学術集会. 2020, 10, 9-10 web開催.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	河野 史	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (代表)	足の変形による下肢筋への影響とその回復に関する形態機能学的解析	1,560

基礎看護学領域

原著論文

- 1 Kaoru SHIBAYAMA, Yasunori KAWAGUCHI, Taiga OTSUKA, Futa KOGA, Shunya NAKASHITA, Noriko OZA, Norio URESHINO, Eiji SADASHIMA, Kentaro KUROBE, Toshifumi KOSUGI, Koichi SHINCHI: Quality of Life During Chemotherapy in Japanese Patients with Unresectable Advanced Pancreatic Cancer. *Asian Journal of Human Services*, Vol. 19, 42-54, 2020.
- 2 古島智恵, 長家智子: 硝子体手術後のうつむき姿勢保持に対する自動運動の苦痛緩和効果-20歳代健常成人による検討-. *日本看護技術学会誌*, Vol. 19, 73-82, 2020, 8.
- 3 *諸上千寿加, 長家智子, 古島智恵, 坂美奈子: 2年課程看護学生の批判的思考態度と情報活用の実践力との関連. *国際ナショナル Nursing Care Research*, 19(1), 109-118, 2020, 4.
- 4 *宇治田さおり, 長家智子, 古島智恵, 坂美奈子: 新卒看護師の日常生活援助における問題解決行動と他者支援との関連. *国際ナショナル Nursing Care Research*, 19(3), 21-30, 2020, 10.

総説

- 1 古島智恵: ゴードンの枠組みでアセスメント 事例でわかる! 疾患別看護過程 慢性心不全. *プチナース*, 29 (4別冊), 2-19, 2020, 3.
- 2 古島智恵: 心不全患者の在宅療養継続のための看護師連携ツールの開発研究-病棟, 外来, 訪問看護, および介護保険施設看護師間で必要な情報共有シートの作成-. *循環器病研究振興財団 循環*

器疾患看護研究助成研究業績報告集 2019（平成31）年度， 1-7， 2020.

- 3 *長家智子，坂美奈子：ゴードンの枠組みでアセスメント 事例でわかる！疾患別看護過程 大腿骨頸部／転子部骨折. プチナース， 29（7別冊）， 2-19， 2020， 5.
- 4 柴山 薫：メイヨークリニックにおける意思決定支援を中心としたがん患者のサポートと臨床における看護教育. 木村看護教育振興財団海外看護研修レポート（nursing reports）2019， 33-46， 2020， 11.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 古島智恵，福山由美，坂美奈子，山田つや子，嘉村歩美，堀口奈緒子：心不全患者の在宅療養継続のための看護師連携ツールの開発研究－病棟，外来，訪問看護，および介護保険施設看護師間で必要な情報共有シートの作成－. 第17回日本循環器看護学会学術集会. 2020， 10， 10-11（ライブ配信）， 2020， 10， 10-25（オンデマンド配信）. 第17回日本循環器看護学会学術集会ホームページ（AP1）オンライン開催.
- 2 坂美奈子，原田広枝，瀬戸山美和，道面千恵子，石橋美香：看護教員を対象とした協働参加型授業改善プログラムの検証－プログラム実践による学びの視点から－. 一般社団法人 日本看護学教育学会学術集会 第30回学術集会. 2020， 9， 5-14. 日本看護学教育学会誌， 30， 181.
- 3 坂美奈子，原田広枝，末永陽子，瀬戸山美和，道面千恵子：看護教員を対象とした協働参加型授業改善プログラムの構築. 一般社団法人 日本看護研究学会 第46回学術集会. 2020， 9， 28-11， 8. 日本看護研究学会誌， 43(3)， 442.
- 4 ○新地浩一，松永妃都美，野中良恵，山田由佳，柴山 薫，金丸昌憲，石橋秋奈，田中沙恵：多職種連携を目指した佐賀大学大学院における国際緊急援助活動に関する教育プログラムの紹介. 第25回日本災害医学会総会・学術集会. 2020， 2， 20-22. 抄録集， 278.
- 5 *中村健太郎，長家智子，古島智恵，高守史子：看護専門学校に勤務する新人看護教員の臨地実習における教授活動の関連要因. 第40回日本看護科学学会学術集会. 2020， 12， 1-25（オンデマンド配信）， 2020， 12， 12-13（ZOOM・LIVE配信）. 第40回日本看護科学学会学術集会オンラインプログラム集， 120.
- 6 *前田和香子，末永陽子，坂美奈子，原田広枝：20代女性看護師の転職による職場適応過程の解明. 第40回日本看護科学学会学術集会. 2020， 12， 1-25（オンデマンド配信）， 2020， 12， 12-13（ZOOM・LIVE配信）. 第40回日本看護科学学会学術集会オンラインプログラム集， 67.
- 7 *原田広枝，坂美奈子，末永陽子，前田和香子：看護管理者による中途採用看護師への職場移行支援のプロセス. 第40回日本看護科学学会学術集会. 2020， 12， 1-25（オンデマンド配信）， 2020， 12， 12-13（ZOOM・LIVE配信）. 第40回日本看護科学学会学術集会オンラインプログラム集， 84.
- 8 *石橋美香，原田広枝，坂美奈子，瀬戸山美和，道面千恵子：初めて転職をした看護師が自分なりのキャリアを踏み出すまでのプロセス. 第40回日本看護科学学会学術集会. 2020， 12， 1-25（オンデマンド配信）， 2020， 12， 12-13（ZOOM・LIVE配信）. 第40回日本看護科学学会学術集会オンラインプログラム集， 90.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
講師	坂美奈子	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (代表)	看護教員を対象とした協働参加型授業改善プログラムの構築と検証	0
講師	坂美奈子	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (分担)	転職による職場再適応プロセスの解明と再適応を支援するキャリア発達プログラムの開発	50
講師	坂美奈子	科学研究費助成事業	若手研究 (代表)	看護教員の授業構築における知識体系の解明	650
助教	柴山 薫	科学研究費助成事業	基盤研究(B) (分担)	放射線防護リスクコミュニケーション現任教育モデルの検証	380

精神看護学領域

原著論文

- 1 Furuno T, Fujino N, Fujimoto Y, Shirai H, Iwamoto Y, Kamada Y, Yamaguchi F: Development of a Visiting Nursing Practice Self-Evaluation Scale: Assessment of Skill for Caring for Individuals With Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia. Res Gerontol Nurs 13(1): 49-60, 2020, 1, 1.
- 2 古野貴巨, 藤野成美, 藤本裕二, 鎌田ゆき: 行動・心理症状の薬物療法を受けている認知症高齢者に対する訪問看護師の判断の視点. 日本在宅看護学会誌, 8(2): 70-78, 2020, 3.
- 3 鎌田ゆき, 藤野成美, 古野貴巨, 藤本裕二: 精神障がい者アウトリーチ実践自己評価尺度の開発と信頼性・妥当性の検討. 日本精神保健看護学会誌, 29(1): 70-79, 2020, 6, 30.
- 4 岩本祐一, 藤野成美: 入院中における慢性期統合失調症患者の自殺のリスク判断に必要な精神科看護師の視点. 日本精神保健看護学会誌, 29(1): 60-69, 2020, 6, 30.
- 5 古野貴巨, 藤野成美, 藤本裕二: わが国の低活動性行動・心理症状を有する認知症患者に対する看護実践の現状と課題-実践報告の文献検討を通して-. 看護科学研究, 18(2): 32-39, 2020.
- 6 Yuji Fujimoto: Correlation Between Recovery and Psychological Characteristics of Schizophrenics Living in the Local Community. Journal of Japan Health Medicine Association, 28(4): 407-413, 2020.

総説

- 1 古野貴巨, 藤野成美, 藤本裕二, 鎌田ゆき: 行動・心理症状を有する認知症高齢者を対象とした訪問看護実践の実態明確化および自己評価尺度の開発. 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団報告書, 2020.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 鎌田ゆき, 藤野成美, 脇崎裕子, 古野貴巨, 藤本裕二: 急性期病院に入院する認知症患者の退院に向けた同一施設内看護師間の情報共有の内容. 一般社団法人日本看護研究学会 第46回学術集会, 2020, 9, 28-11, 8 (オンデマンド配信). 第46回日本看護研究学会学術集会-プログラム及び内容要旨-, 227.
- 2 脇崎裕子, 藤野成美, 鎌田ゆき, 古野貴巨, 藤本裕二: 急性期病院に入院した身体合併症をもつ認

知症高齢者の退院後の課題 多部署看護師へインタビュー調査. 第40回日本看護科学学会学術集会. 2020, 12, 1-25 (オンデマンド配信), 2020, 12, 12-13 (ZOOM・LIVE 配信). 第40回日本看護科学学会学術集会 プログラム集, 149.

- 3 白井ひろこ, 藤野成美: 勤務中における看護師長の怒り感情喚起場面. 第40回日本看護科学学会学術集会. 2020, 12, 1-25 (オンデマンド配信), 2020, 12, 12-13 (ZOOM・LIVE 配信). 第40回日本看護科学学会学術集会 プログラム集, 84.
- 4 藤本裕二, 松浦江美, 楠葉洋子: 地域で暮らす統合失調症者の身体活動量の実態と特徴. 一般社団法人日本看護研究学会 第46回学術集会. 2020, 9, 28-11, 8 (オンデマンド配信). 第46回日本看護研究学会学術集会-プログラム及び内容要旨-, 231.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (代表)	特定保健指導を利用した女性多量飲酒者への節酒支援ガイドラインの開発と検証	1,560
教授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (分担)	高齢者施設に勤務する新任看護職の就業継続を目指した職場定着促進プログラムの開発	240
教授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (分担)	社会的ハイリスク妊婦へのヘルスリテラシー向上に向けた支援モデルの開発	100
教授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (分担)	急性期病院における認知症者の地域生活継続を支援する看護連携ガイドライン開発と検証	325
講師	藤本 裕二	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (代表)	統合失調症者のリハビリとスポーツ科学に関する研究	780

在宅看護学領域

原著論文

- 1 Yumi FUKUYAMA, Yuka YAMADA, Koichi SHINCHI, Akiko AKIYAMA: Advance Care Planning in Japan; Survey of the Primary Care Physicians' View. Asian Journal of Human Services, Vol. 19, 11-23, 2020, 10.
- 2 *Akiko AKIYAMA, Yumi Fukuyama: Factors influencing decision-making ability of the patient receiving home medical care. J Gen Fam Med 21(5): 199-202, 2020, 6.
- 3 Yumi FUKUYAMA, Maiko KIDO, Koichi SHINCHI, Akiko AKIYAMA: Medical and Care Collaboration between Nurse and Care-worker in a 'Kantaki' Setting: Time-Sampling Study. Asian Journal of Human Services, Vol. 18, 74-80, 2020, 4.
- 4 *Akiko AKIYAMA, Yumi FUKUYAMA: Qualities required for new graduate visiting nurses: A qualitative study. J Gen Fam Med 21(3): 87-91, 2020, 3.
- 5 古野貴臣, 藤野成美, 藤本裕二: わが国の低活動性行動・心理症状を有する認知症患者に対する看護実践の現状と課題-実践報告の文献検討を通して-. 看護科学研究, 18(2): 32-39, 2020.

- 6 ○鎌田ゆき, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二: 精神障がい者アウトリーチ実践自己評価尺度の開発と信頼性・妥当性の検討. 日本精神保健看護学会誌, 29(1): 70-79, 2020, 6.
- 7 Takaomi Furuno, Narumi Fujino, Yuji Fujimoto, Hiroko Shirai, Yuichi Iwamoto, Yuki Kamada, Fumi Yamaguchi: Development of a visiting nursing practice self-evaluation scale for patients with behavioral and psychological symptoms of dementia. Res Gerontol Nurs 13(1): 49-60, 2020, 1.
- 8 古野貴臣, 藤野成美, 藤本裕二, 鎌田ゆき: 行動・心理症状の薬物療法を受けている認知症高齢者に対する訪問看護師の判断の視点. 日本在宅看護学会誌, 8(2): 70-78, 2020, 3.

総 説

- 1 *長家智子, 古野貴臣: ゴードンの枠組みでアセスメント 事例でわかる! 疾患別看護過程 双極性障害. プチナース 別冊 疾患別看護過程, Vol. 29, 2-19, 2020, 9.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 ○Akina ISHIBASHI, Yumi FUKUYAMA, Kazue NONAKA and Koichi SHINCHI: The Role of Surgical Nurse in International Disaster Response (IDR) in Japan: Recognition of the Medical Workers with Experience in IDR. グローバルヘルス合同大会2020 大阪. 2020, 11, 1-3 (ライブ配信), 2020, 11, 10-12, 10 (オンデマンド配信). グローバルヘルス合同大会2020, 228頁.
- 2 ○野中良恵, 石橋秋奈, 松永妃都美, 福山由美, 田中沙恵, 新地浩一: Pacific Partnership (PP) 2018 in Sri Lanka に参加して. グローバルヘルス合同大会2020 大阪. 2020, 11, 1-3 (ライブ配信), 2020, 11, 10-12, 10 (オンデマンド配信). グローバルヘルス合同大会2020, 227頁.
- 3 Yumi FUKUYAMA, Yuka YAMADA, Koichi SHINCHI, Akiko AKIYAMA: Advance Care Planning in Japan: survey of the primary care physicians view. 第79回日本公衆衛生学会総会. 2020, 10, 20-22 (特別プログラム: ライブ配信・定刻配信), 2020, 10, 20-11, 30 (一般演題: オンデマンド配信). 第79回日本公衆衛生学会総会抄録集, 511頁.
- 4 山田由佳, 福山由美, 新地浩一: 大規模災害における行政保健師の活動に関する研究. 第79回日本公衆衛生学会総会. 2020, 10, 20-22 (特別プログラム: ライブ配信・定刻配信), 2020, 10, 20-11, 30 (一般演題: オンデマンド配信). 第79回日本公衆衛生学会総会抄録集, 279頁.
- 5 *脇崎裕子, 藤野成美, 鎌田ゆき, 古野貴臣, 藤本裕二: 急性期病院に入院した身体合併症をもつ認知症高齢者の退院後の課題 多部署看護師へインタビュー調査. 第40回日本看護科学学会学術集会. 2020, 12, 12-13 (ZOOM・LIVE 配信), 2020, 12, 1-25 (オンデマンド配信). 第40回日本看護科学学会学術集会電子抄録.
- 6 ○鎌田ゆき, 藤野成美, 脇崎裕子, 古野貴臣, 藤本裕二: 急性期病院に入院する認知症患者の退院に向けた同一施設内看護師間の情報共有の内容. 日本看護研究学会 第46回学術集会. 2020, 9, 28-11, 8. 日本看護研究学会雑誌, 43, 3, 505.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
准教授	福山 由美	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (代表)	在宅医療処置トラブルの予防・対応型 シミュレーション教材の開発とその評価	390
講師 (特定)	古野 貴臣	科学研究費助成事業	若手研究 (代表)	認知症者の低活動症状に着目した BPSD 重症化予防に向けた看護アセス メント指標開発	1,300
講師 (特定)	古野 貴臣	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (分担)	特定保健指導を利用した女性多量飲酒 者への節酒支援ガイドラインの開発と 検証	117
講師 (特定)	古野 貴臣	独立行政法人労働者健康安 全機構	調査研究助成 (代表)	働く女性のライフステージに応じた節 酒支援に関する保健指導マニュアルの 作成	997

国際保健看護学領域

原著論文

- 1 Kaoru SHIBAYAMA, Yasunori KAWAGUCHI, Taiga OTSUKA, Futa KOGA, Shunya NAKASHITA, Noriko OZA, Norio URESHINO, Eiji SADASHIMA, Kentaro KUROBE, Toshifumi KOSUGI, Koichi SHINCHI: Quality of Life During Chemotherapy in Japanese Patients with Unresectable Advanced Pancreatic Cancer. Asian Journal of Human Services, Vol. 19, p42-54, 2020.
- 2 °Yumi FUKUYAMA, Maiko KIDO, Koichi SHINCHI, AKIYAMA Akiko: Medical and Care Collaboration between Nurse and Care-worker in a 'Kantaki' Setting. Asian Journal of Human Services, Vol. 18, p. 74-80, 2020.
- 3 °Yumi FUKUYAMA, Yuka YAMADA, Koichi SHINCHI, Akiko AKIYAMA: Advance Care Planning in Japan; Survey of the Primary Care Physicians' View. Asian Journal of Human Services, Vol. 19, 11-23, 2020.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 新地浩一, 松永妃都美, 野中良恵, 山田由佳, 柴山 薫, 金丸昌憲, 石橋秋奈, 田中沙恵: 多職種連携を目指した佐賀大学大学院における国際緊急援助活動に関する教育プログラムの紹介. 第25回日本災害医学会総会・学術集会. 2020, 2, 20-22, 神戸. 抄録集 p278.
- 2 野中良恵, 松永妃都美, 石橋秋奈, 高橋公一, 山田由佳, 金丸昌憲, 新地浩一: 経験のある災害支援ナースが重要と考える活動. 第25回日本災害医学会総会・学術集会. 2020, 2, 20-22, 神戸. 抄録集 p279.
- 3 松永妃都美, 野中良恵, 新地浩一: 水害での亜急性期における災害支援ナースの役割と課題-九州北部豪雨からの知見-. 第25回日本災害医学会総会・学術集会. 2020, 2, 20-22, 神戸. 抄録集 p341.
- 4 石橋秋奈, 新地浩一: The role of surgical nurse in International Disaster Response (IDR) in Japan.

- グローバルヘルス合同大会2020 大阪 (Joint Congress on Global Health 2020 in Osaka). 2020, 11, 1-3. 抄録集 p228.
- 5 野中良恵, 石橋秋奈, 松永妃都美, 田中沙恵, 福山由美, 新地浩一: Pacific Partnership 2018 in Sri Lanka に参加して. グローバルヘルス合同大会2020 大阪 (Joint Congress on Global Health 2020 in Osaka). 2020, 11, 1-3. 抄録集 p227.
- 6 山田由佳, 福山由美, 新地浩一: 大規模災害における行政保健師の活動に関する研究. 第79回日本公衆衛生学会総会. 2020, 10, 20-22. 抄録集 p279.
- 7 °Fukuyama Y, Shinchi K, Akiyama A: Advance Care Planning in Japan; Survey of the Primary Care Physicians' View. 第79回日本公衆衛生学会総会. 2020, 10, 20-22. 抄録集 p511.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	新地 浩一	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (代表)	多職種連携をめざした大学院における実践的な国際看護の教育プログラムの開発研究	1,430
教授	新地 浩一	科学研究費助成事業	基盤研究(B) (分担)	放射線防護リスクコミュニケーション 現任教育モデルの検証	300

臨床心理学領域

著 書

- 1 村久保雅孝: 参加者の生活から見るエンカウンター・グループ. エンカウンター・グループの新展開: 学びの書-考え方と実践, 伊藤義美, 松本 剛, 山田俊介, 坂中正義, 本山智敬 編著, 第II部エンカウンター・グループの多様な展開, 第1章エンカウンター・グループの諸側面, 76-79. 木立の文庫. 京都 2020, 8, 20.
- 2 村久保雅孝: プロセスに現在進行形の達成感を感じる. エンカウンター・グループの新展開: 出会いの書-対話とメッセージ 伊藤義美, 松本 剛, 山田俊介, 坂中正義, 本山智敬 編著, 第IV部一人ひとりの物語, パーソンセンタード・アプローチの声をつむぐ, 53-54. 木立の文庫. 京都 2020, 8, 20.